

令和 3 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	64
--------	----

担当課	教育委員会	担当課長	江上 智恵			
事業担当者	山邊 克彦	一次評価者	安部 憲一郎			
事業区分	継続事業(初年度)	事務事業評価の履歴	有			
事務事業名	地域学校協働活動推進事業					
予算科目	10 款 5 項 1 目					
予算事業名	学校を核とした地域協働活動推進事業費					
総合計画での位置づけ(施策名)	健全な子供を育てる					
事業の性格	自治事務					
法令等根拠	社会教育法					
事業の対象	町内在住の小学生・中学生、町民					
事業の目的	子どもの成長を軸として、地域と学校がパートナーとして連携・協働し、意見を出し合い学び合う中で、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域住民のつながりを深め、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図る。					
実施期間	開始年度	平成 30	年度から			
	終了年度	令和	年度まで			
事業の内容	学習支援をはじめとして、学校行事や環境整備等で地域の人材を活用する。また、地域行事において、児童生徒の積極的な参加を促す。					
目的達成の指標(成果指標)	地域学校協働活動に参加したのべ人数					
	区分年度	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5年度
	目標	人	500	600	600	600
	実績	人	538	441		
指標設定の考え方	参加者の増加が地域の教育力の向上につながるため。					
計画時の懸案事項	これまでの活動を継続、改善するために地域学校協働活動推進員を設置し地域住民の参画を得ているが、今後はさらに多様な地域住民の参画を促すため人材発掘および広報活動を充実する必要がある。					
計画時の懸案事項への対応	地域活動推進委員に従事する方の発掘と、地域の人材の発掘に力を入れる。					

PLAN(計画)

No.2

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 193 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算	
事務量	① 人工数	0.15	0.15	0.15	0.15
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費(①×②-③)	1,147	1,076	1,184	1,184
事業費	直接事業費	1488	2106	2163	2163
	人件費	1,147	1,076	1,184	1,184
	合計	2,635	3,182	3,347	3,347
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	807	1402	1442	1442
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,828	1,780	1,905	1,905
合計	2,635	3,182	3,347	3,347	

事業費計画

(千円)

区分/年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
目標	1,488	2,106	2,163	2,163	2,163
実績	1,089	928			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
地域学校協働活動の参加者	人	80	90	100	100
地域学校協働活動推進員	人	29	80		
		4	5	5	6
		4	3		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 153 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算	
事務量	① 人工数	0.15	0.15	0.15	0.15
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,022	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0		0
	人件費(①×②-③)	1,147	1,076	1,053	1,184
事業費	直接事業費	1089	2106	928	2163
	人件費	1,147	1,076	1,053	1,184
	合計	2,236	3,182	1,981	3,347
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	645	1402	568	1442
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,591	1,780	1,413	1,905
合計	2,236	3,182	1,981	3,347	

実施備忘録

CHECK(評価)

No.3

自己評価	評価者	山邊 克彦
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？		評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。		4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。		4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。		4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。		4	
2. 町が実施する必要があるか？			
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		4	B
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。		4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。		4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。		4	
3. 実施内容は適切か？			
①有効性			
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。		4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。		3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。		3	
②効率性			
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。		3	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。		4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。		3	
③公平性・透明性			
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)		4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。		4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。		3	

今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)	
<input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)	
<input checked="" type="checkbox"/> C見直し	
<input type="checkbox"/> D廃止	
<input type="checkbox"/> E完了	

C見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

学校が抱える問題は、教職員だけで解決することが難しい状況が様々な場面で現れてきている。そのような状況の中で、地域が果たせる役割は大変大きいものと考えている。
学校と地域をつなぐ役割を持つ当事業は大変有効であり、今後の学校や地域を取り巻く社会の変化において、非常に重要な役割をになっていくため、上記のような評価とした。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

今年度の目標であった、地域学校協働活動推進委員の増員が、果たせなかった。地域の人材の掘り起こしが不十分だったことが反省点として挙げられる。
事業の目的や役割、学校や地域にとっての有効性を機会があるごとに、周知していき推進委員をはじめ協力者を募っていくことに力を入れる必要がある。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	安部 憲一郎
------	-----	--------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ← 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？		評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。		4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。		4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。		4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。		4	
2. 町が実施する必要があるか？			
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の口にチェックしてください。			
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。		4	B
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。		4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。		4	
3. 実施内容は適切か？			
①有効性			
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。		4	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。		3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。		3	
②効率性			
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。		3	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。		4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。		3	
③公平性・透明性			
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)		4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。		4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。		3	

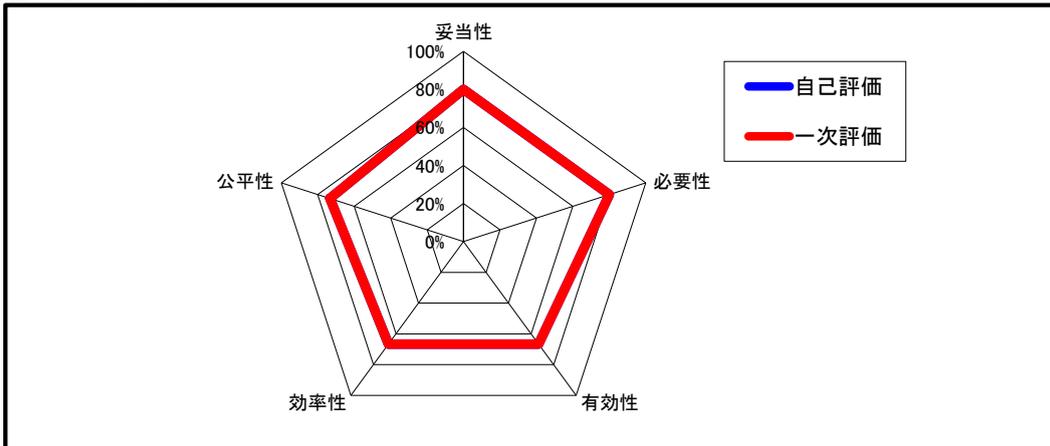
今後の方向性	A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの
<input type="checkbox"/> A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)	
<input type="checkbox"/> B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)	
<input checked="" type="checkbox"/> C見直し	
<input type="checkbox"/> D廃止	
<input type="checkbox"/> E完了	

C見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

学校だけでは解決できない課題が増加してきている中で、地域の方が係ることにより解決できるものも多くあると考える。
学校と地域をつなぐ当事業は大変有効であるが、推進する体制を強化する必要がある。
事業の有効性を広く周知し、推進委員や協力者となる人材確保に努めていく。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者

江上 智恵

- A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

- B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

- C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

学校を地域がささえ、教職員の負担の軽減を図るために必要な事業であるが、新たなボランティアの発掘や地域学校協働本部の活動の活性化などを計画的に行う必要がある。今後コミュニティスクールを立ち上げていくなかでも必要な事業である。

- D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会
で評価する。

月 日
開催予定

- E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり
直し、
月 日
までに提出すること。

評価終了
 外部評価へ

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

外部評価

今後の方向性		A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの	C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/>	A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)		<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/>	B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)		<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/>	C見直し		<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/>	D廃止		<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/>	E完了		<input type="checkbox"/> その他

評価	B	外部評価委員の意見
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校が一体となった素晴らしい事業である。 ・協力委員の確保が難しいということも理解できる一方で、高齢のボランティアスタッフにとって、本活動が喜びとなっていることも大きいと思う。もっと町民のご協力を得て推進して頂きたい。 ・ボランティアスタッフの拡充が前提ではあるが、英語など、子どもたちの将来のために興味を持ってもらうきっかけとして様々な知識を提供できないか。 ・成功事例の共有やスタッフの若返りをはかることで、若い層の横の繋がりができ、コミュニティの活性化につながるのではないか。 ・事業に参加されているボランティアスタッフにもアンケート等を実施してご意見を伺ってはどうか。

経営者会議

経営者評価	町長
-------	----

今後の方向性		A・B=目標達成できたもの C・D=目標達成できていないもの	C見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/>	A重点化(計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る)		<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/>	B現状維持(計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める)		<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/>	C見直し		<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/>	D廃止		<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/>	E完了		<input type="checkbox"/> その他

評価	B	経営者会議の結果
		<p>本事業は学校を取り巻く環境の複雑化等により発生する課題の解決に向けて、地域と学校がパートナーとして連携を行う重要な事業である。中でも久山町は本事業に先進的に取り組んでいるが、今後コミュニティスクールの発足を視野に、更なる事業の拡大を図るにあたり、人材の掘り起こしが課題となっている。</p> <p>本課題を解決するため、教育委員会だけでなく、庁内全体で本事業の内容・課題の共有を行い、広く人材を確保していく。また、学校と推進委員との連携を図り、ボランティアスタッフの意見を取り入れながら活動しやすい体制を整え、スタッフの確保に繋げていく。</p>

令和 5 年度予算要求事項(今後の取り組み)	
<p>学校だけでは解決できない課題が増加してきている中で、地域の支えにより解決につなげ、教職員の負担軽減と子ども達の学習環境の充実を図るために必要な事業である。また、令和5年度から各学校で予定しているコミュニティスクールの発足を行う上でも必要な事業である。</p> <p>今年度は推進委員の充実を図って事業を行っていることから、多くの地域の方が学校へ関わっていただいている。今後も引き続き、事業の有効性を広く周知するとともに、庁内でも事業の内容・課題の共有を行い、新たなボランティアの発掘や地域の人材確保に努めていく。</p> <p>また現在、関わっていただいている方を対象に、事業の進め方や満足度等についてアンケート調査等により意見を伺うなどして、当事業の改善も併せて行っていく。</p>	